

川西市議会議員 きたうえあきひと **北上哲仁**

2005年4月

編集：北上哲仁サポーターズ

川西市萩原台東1-275-3

TEL 072-758-7724

FAX 072-758-7725

<http://www.kitaue.com>E-mail akihito@kitaue.com

1951年12月7日 第三種郵便物
認可 社会新報/号外
社会民主党全国連合機関紙宣
伝局 週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円
送料160円

いなほだより

どう思いますか？ 3月議会報告 「包丁条例」

川西市内で包丁を購入する際は、「規定の用紙に氏名・住所・購入目的を記入しなければならない」。大阪府寝屋川市での教職員殺傷事件などを受け、こんな条例が3月市議会に提案されました。新聞・テレビで大きく報道されました。皆さんは、この条例を如何お考えでしょうか。



市が条例案を撤回

条例は市議会総務委員会で審議され、「犯罪抑止に繋がるのか疑問」「個人情報保護に問題」「市民や事業者の理解が得られていない」等の意見が出ました。採決では、賛成3・反対3の同数となり、委員長裁決で否決されました。結局、市は条例を撤回しました。今後、若干の修正がなされ、6月定例議会以降に再提案される見通しです。

私は条例で市民に義務を課すためには相当の合理性が必要だと考えます。飛行機搭乗の際の厳しいチェック、日本刀や劇薬購入の際の煩雑な手続き等は、安全と人命を守るために誰もがその必要性を理解します。しかし、包丁はどここの家庭にもあり、日常的に使用している物です。その購入に手続きを課して何の意味があるのでしょうか。

犯罪を生み出す社会を改める努力こそ必要

条例制定が、「市をあげて犯罪抑止に取り組んでいることをアピールすることに有用」との考え方もあります。しかし、人権とのバランスが問われます。

「犯罪抑止」が名目であれば何でも出来るわけではないのです。例えば、全ての市民から指紋を採れば犯罪が減るかも知れませんが、そんな人間の尊厳を否定する方法は許されません。人権・プライバシーに関わらない方法での「犯罪抑止アピール」を積極

的に行うべきです。公用車や郵便配達のパイク等に「子どもの安全パトロール」のステッカーを掲示し、仕事中に子どもの安全に注意してもらう制度が新年度よりスタートします。これには賛成です。

自分の子どもが被害にあったら・・・耐えられない悲しみでしょう。子どもの命と安全を守ることは、皆の願いです。しかし、無闇に監視や管理を強め、息苦しい社会にしてしまうことは、人々に緊張を強い、ストレスを募らせます。そのことが犯罪を生み出す危険性もあります。包丁条例のような市民の人権を制約する方法を安易に導入することに私は疑問を感じます。「勝ち組」「負け組」「希望格差社会」という言葉が流行語になっていますが、犯罪を生み出す社会の在り方を改める努力こそが、大切ではないでしょうか。

知的障害者2名

市立図書館で雇用実現！

2年半前、初めての議会質問で「障害者の雇用促進」を訴えました。「知的障害者の公務内職場での採用」を提案したのですが、この4月から市立図書館で雇用が実現しました。現在、チーフコーチと共に業務に取り組んでいます。

夢ある子育て・子育てを！

川西市における子育て、子育てをどのように支援していくのか、法律に基づいて今年度から10年間の総合的な計画、「川西市次世代育成支援対策行動計画」が策定されました。

基本理念は「子どもたちが夢を拡げ、子どもとおとなが育ち合うまちづくり」です。基本目標として

3月議会での要望と市の回答

北上は以下の事項について3月議会で市当局へ要望を出しました。

乳幼児保育事業を拡充し、年間を通して受け入れを出来るように。

回答：若干の定員増を計画する。

病後児保育・特定の日時のみの保育（パート勤務などに対応）・日曜祝日保育の事業を複数ヶ所で。

回答：先ず1ヶ所設置し、状況を見て検討。

10ヶ月検診のスタッフ拡充を。

回答：保育士等検診スタッフの充実と検診内容の質向上に務める。

保健師の増員を。

回答：人材確保の必要性は認識している。

子どもが里山等自然の中で日常的に自由に遊べる場所の確保を。

回答：重要なことと認識するが、指導者の確保や安全性等の課題がある。

{ 参考：川西市のデータ }

出生率 00年1.16人(全国1.36人) 03年1.07人(全国1.29人)

保健師一人あたりの人口(04年) 15688人(阪神間最多)

県平均6351人 芦屋8146人 伊丹市13753人 宝塚14567人

子どもの権利と安全を守る、多様な子育て支援サービスを展開する、母と子のいのちと健康を守る、子どもの豊かな個性と生きる力を育む、男女が参画し、地域でともに子どもを育てると掲げています。1月28日に「行動計画」の出前講座(地域に生きる川西市民の会主催)を催しました。

出前講座に 参加して

萩原 正井美知

出前講座では「すこやか子ども室」の方から説明を受けました。目標や具体的内容は素晴らしいものですが、絵に描いた餅にならぬかという懸念が多くの出席者から出されました。またこれは「子育て」のみでなく、社会全体の問題であり「すこやか子ども室」の他、市役所全体で取り組むべきことであるが、それが役所内で認識されているのか。必要な予算は膨大なのに財政との関係はどうなのか。不十分なまま計画を進めることで、どこかへしむ寄せや質の低下にならぬか等、心配が先に立ちます。また、子どもにとって大切な自然環境への視点が抜けていたり物足りぬ思いも持ちました。

一方、私たち市民も行政にお任せ状態ではいけない。子どもの為、ひいては自分を含めた皆の為、より良い未来の為に今考え、発言し一緒に取り組んでいかなければと思いました。皆さんどんどん関わっていきましょう。



猪名川を市民の憩いの場にしよう

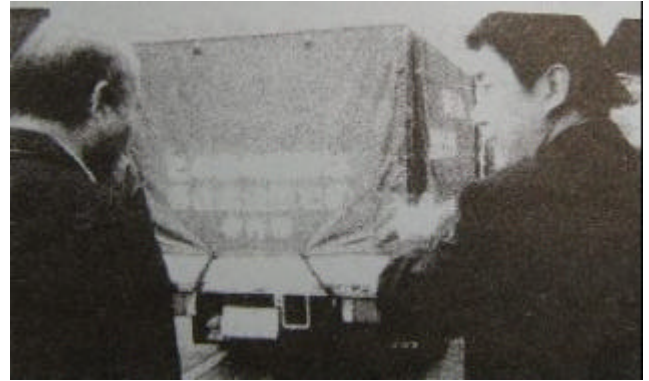
—環境保全審議会が開催されました—

2月18日、川西市環境保全審議会が開催され、「環境基本条例」と「環境基本計画」の策定について11名の委員で審議しました。

北上は 環境をキーにした全市的なルールづくりとして捉える（交通政策や再開発等も含める） 川西市の独自性・地域性を大切にする（猪名川を市民が自然に親しむ場、憩いの場とする等） 中央北地区の再開発は自然を生かし、環境保全の理念と合致させる 自然環境保全の活動に取り組む市民・市民団体との協議の場を設ける 計画については実効性を担保す施策が必要等の意見を述べました。

今年度一年間かけて審議します。皆様のご意見をお寄せください。

伊丹市ではリサイクルと環境保全を目的に、廃食油から燃料をつくりゴミ収集車を走らせています。排気ガスは天ぶらの匂いがします。



排気ガスの臭いも「美味しそう」!?

熊本・佐賀で禁止 川西でも大量閲覧禁止の条例を!

先月名古屋市で、住民基本台帳を閲覧して母子家庭と思われる世帯を探し出し、親の留守中に子どもに犯罪行為をした男性が逮捕されました。現在、原則公開となっているこの閲覧制度は、犯罪や悪質商法に利用される恐れがあると再三指摘されています。私は昨年の市議会で住民基本台帳大量閲覧を大幅に制限することを訴えました。熊本市では昨年6月より原則的（公益上必要と認められる場合を除く）に閲覧請求を拒否する条例を施行させています。またお隣の佐賀市でも先月に同主旨の条例が市議会で可決（全会一致）されました。私は2月に熊本・佐賀を視察し条例制定の経緯や内容について調査しました。川西市においても、市民のプライバシーを守るため、大量閲覧を禁止する条例を制定したいと思います。

住民基本台帳 市区町村が、在住者の住民票をまとめた台帳のこと。氏名・住所・性別・生年月日が記載されている。法律で原則公開となっており、川西市でも業者のダイレクトメール発送等の目的で年間に数万件(2004年度は 件)が閲覧されている。独自に条例を制定し制限している自治体もある（山口県萩市・佐賀市・熊本市など）。

広域ごみ処理施設 焼却炉はあまりにも高額!

3月3日に猪名川上流広域ごみ処理施設建設の入札が行われました。焼却炉は128.3億円（税抜き）でJFEエンジニアリング（旧日本鋼管）が落札。しかし、ほぼ同規模・同形式の枚方は55億円、東淀川は57.4億円、城南は58億円です。不当に高額である疑いがあります。市民の皆さんと一緒に追及していくつもりです。

盛会でした 新春の集い

2月20日に川西市文化会館で催した「サポーターズ新春の集い」には、約100名の市民にご参加頂きました。北上の市政報告、「しごと・くらし何でも相談」顧問の挨拶、地域で環境問題や福祉、交通安全、国際交流等に取り組む様々な市民からのアピール、沖縄民謡の披露など多彩なプログラムで大変盛り上がりしました。中川ともこ前衆議院議員も駆け、応援の言葉を贈ってくれました。

「今、声を出さないと大変なことに」

サポーターズ **新代表に早瀬和人さん**

本年1月、サポーターズ代表が交代いたしました。新代表の挨拶を掲載し、ご報告とさせていただきます。

<北サポから“声”を響かせましょう>

北上哲仁サポーター発足以来代表を務めた阪本弘美さんが勇退され、本年1月より「サポーターズ代表」を引き継いでいます。当初不安でいっぱいでした。でも新春のあるTV番組で吉永小百合さんが「今、声を出さないと大変なことになるのでは。でも、誰も声を出していないのが怖い。だからこそ、今年は声を出してゆこうと思います」と、戦後60年目の今、再び“戦時”に備えようとする空気を案じ語られたのを聞き、勇気を得たのです。「声出し

たい人、ここにもいる。私たちは、生活の様々な現場で様々な“声”を出しながら生きたい！」と声をあげたくまりました。「そやけど一人じゃなあ…」と躊躇するあなた。大丈夫。北上哲仁さんが“声”を出している。ぜひ北上さんと一緒に“声”を出し、それを集めて政治に生かそうではありませんか。私たちにできる平和を造り出すための大事な一歩だと信じています。

サポーターズ代表

日本キリスト教団能勢口教会牧師 早瀬和人

市民の集い

戦争で幸せになる子どもは、いない!

と き 4月24日(日)午後2時～ (受付1時30分)

ところ アステホール (阪急川西能勢口駅前アステ川西6階)

参加費 無料 お気軽にご参加ください! 平和憲法の果たす役割を考えましょう。

基調講演 こもりよういち 小森陽一さん(東京大学教授・九条の会事務局長)

発言 ブライアン コバートさん

主催 「戦争で幸せになる子どもは、いない!」実行委員会

連絡 090-3613-7069(北上携帯) FAX072-758-7725

次回定例市議会開催予定 6月13日(月)～7月1日(金)

一般質問は6月17日(金)・20日(月)・21日(火)に行われる予定です。

しごと・くらし何でも相談

普段の生活や仕事で困ったことや不安はありませんか。一人で悩まずに一緒に考えましょう。

顧問相談員

恵須川満延 行政書士 小池貞治 社会保険労務士 大川一夫 弁護士 在間秀和 弁護士

阪本弘美住宅増改築相談員

連絡：北上事務所758-7724 議会控室740-1111内線4060 北上携帯090-3613-7069